

2025 年 10 月 2 日

報道関係各位

京都産業大学 広報部

地域と大学がつなぐ“防災の輪”
柘野まつりで地域と共に防災を考える
京都産業大学 経営学部赤岡ゼミの学生が防災ボトルを販売

日本は「地震・津波・火山」「台風・豪雨」「土砂災害・洪水」など、複数の災害リスクが重なる世界有数の災害大国であることから、多様なリスクに備える必要があります。

このたび、経営学部赤岡ゼミの学生が、柘野地区で開催される「柘野まつり」において、防災意識の啓発を目的とした「防災ボトル※」の販売を行います。

ぜひ取材いただき、広くご紹介いただきますようお願い申し上げます。

※防災ボトルとは
警視庁災害対策課推薦の持ち運びに便利な一本のボトルに防災グッズをまとめたものです。外出先で災害に遭遇した場合に備えて、必要最低限の防災グッズをウォーターボトル(500ml程度)にまとめたもので、普段から持ち歩ける防災対策として注目されています

主な内容物 ※柰丸辰 モシモニソナエル 防災ボトル 9点セット
・ボトル(本体)・ホイッスル・圧縮タオル・エチケツ袋・ミニライト・ビニール袋・常備薬入れ・ばんそうこう
・アルコール消毒綿・ようかん 等々

【内容】

- ・京都産業大学 赤岡ゼミの学生が防災意識の啓発を目的に「柘野まつり」での出店を企画。関係各所と調整し準備した「防災ボトル(既製品)※」を販売する。

※柰丸辰「モシモニソナエル 防災ボトル 9点セット」HP から抜粋

<https://marutatsu.co.jp/contact/>

- ・防災ボトルには、災害時に役立つ物品や防災情報が同梱されている。
- ・学生は来場者と共に防災を考える機会を作りたいと考えている。



【赤岡ゼミの取り組み】

マネジメントにはいろいろな分野がありますが、本ゼミでは特に「人のマネジメント」に注目し学びを深めています。人のマネジメントを学び、チームでの経験を積むことで、新しい発見やスキルアップを目指しています。

＜具体例＞

- ・役割分担やまとめ方を考える
- ・部下の成長につながる教え方を工夫する
- ・モチベーションを高める方法を考える

今回の取り組みによって、法令や団体・組織のマネジメントについて学びを深めました。

【地域との防災】

京都産業大学は、災害対策基本法に基づく「指定避難所」および「指定緊急避難場所(水害)」に指定されており、災害時には地域住民を受け入れる役割を担っています。

【実施場所】

日時:2025 年 10 月 4 日(土) 16 時～20 時

場所:柘野小学校 運動場・体育館

※ご取材いただける際には、お手数をおかけいたしますが、10 月 3 日(金)15 時までに広報部へご一報いただきますようお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先

取材について 京都産業大学 広報部 TEL: 075-705-1411